

# 令和2年度の取組

## 刈谷市立刈谷特別支援学校 第3回実践研究協議会

### 1 研究主題

「新たな肢体不自由特別支援学校づくりー3つの「つ」をみつめてー」  
令和2年度 文部科学省委託事業「学校における医療的ケア実施体制構築事業」成果報告

### 2 期日

令和3年2月13日（土）

### 3 会場

刈谷市総合文化センター アイリス

### 4 記念講演

演題 「『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善」  
講師 国立特別支援教育総合研究所 情報・支援部長（兼）上席総括研究員 横倉 久 氏

### 5 分科会

【第1分科会】助言者：国立特別支援教育総合研究所

情報・支援部 主任研究員 北川 貴章 氏

- 有効活用される個別の教育支援計画を目指して
- 根拠に基づいた指導を目指した簡易なアセスメントツールの開発

【第2分科会】助言者：刈谷豊田総合病院リハビリテーション科 リーダー 言語聴覚士

保田 祥代 氏

- 外部専門家のコンサルタント的な活用による授業改善への取組
- 障害乳幼児を対象とした切れ目ない支援体制の構築

【第3分科会】助言者：愛知県総合教育センター 相談部 特別支援教育相談研究室

室長 倉知 利勝 氏

- 学校における医療的ケア実施体制構築事業ー成果報告ー
  - ・ 出向看護師システムの完成に向けての取組
  - ・ 医療的ケア児の緊急時対応に向けた体制作り

### 6 15分間プレゼン

本校の7名の教師が、実践を15分にまとめ、映像を交えて発表しました。

## 7 前日について

本校の授業公開を行いました。その後、小垣江東小学校の校長先生より「小垣江東小学校の学校経営と特別学校との交流」、本校小中学部主事より「本校の交流および共同学習の実践」とのテーマで報告しました。



## サマーセミナー

### 1 期日

令和2年8月25日（火）

### 2 会場

刈谷市総合文化センター 小ホール

### 3 講演

演題「医療的課題を抱える子どものソーシャルワーク～教育・医療・福祉のために ソーシャル  
ワーカーができること～」

講師 安城更生病院 医療ソーシャルワーカー 柚原 明日香 氏

### 4 事例研究報告

○「重複障害のある児童の社会性の育成～小学校に併設している特別支援学校の利点を生かして～」

○「生理学的指標に基づく実態把握とそれを生かした授業実践」



## 外部講師による講義

本校の職員の専門性や指導力向上のため、外部講師による研修を下記のとおり実施しました。

月	講義名	講師
8月	子どもを支える母親として	愛知県立ひいらぎ特別支援学校 元PTA会長 永井 美幸 氏
8月 12月	刈谷豊田総合病院セラピストとのケース会議	刈谷豊田総合病院 リハビリテーション科 言語聴覚士 保田 祥代 氏 作業療法士 清水 雅裕 氏 理学療法士 仲村 我花奈 氏
10月	『人生に無駄な事なんてない』 サイボーグになって、もう一度野球しようよ！	UUUM株式会社 You Tuber 寺田 ユースケ 氏
12月	施設建設と父母の会の活動	刈谷市肢体不自由児・者の会 会長 藤井 孝 氏
1月	医療的ケア児の体調を整える	大同病院 大同こども総合医療センター長 医師 水野 美穂子 氏
	社会で働く力を身につけるために学齢期から求められること～企業の障害者雇用の立場から～	トヨタグループ株式会社 名古屋事業所 所長 清水 康史 氏 管理部人事グループ長 杉浦 恵美子 氏
2月	子どもたちの可能性は無限大 ～生きるチカラを育むために私たちができること～	桜花学園大学保育学部 国際教養こども学科 教授 寺田 恭子 氏
3月	幼保小特連携の視点から考える特別の支援を必要とする子どもの理解と対応	桜花学園大学保育学部 国際教養こども学科 助教 小柳津 和博 氏



## 特別支援教育連絡会

特別支援教育に携わる地域の小学校・中学校の先生方を対象に、以下の特別支援教育連絡会を行いました。

### 1 特別支援学級担当者・特別支援教育コーディネーター連絡会

#### (1) 期日

令和2年8月4日（火）

#### (2) 内容

外部講師による講演、グループ協議

#### (3) 外部講師による講演

「子どもを支える母親として」

元愛知県立ひいらぎ特別支援学校PTA会長 永井 美幸 氏

## 校内研究

「新たな肢体不自由特別支援学校づくりー3つの「つ」をみつめてー」を研究主題とし、各研究グループに分かれて研究を深めました。「学校における医療的ケア実施体制構築事業」（文部科学省委嘱研究）の成果報告を含め、2月に実践研究協議会を実施しました。